

# Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 198

## 〈地球では 気候変動 予想超え〉

いま、地球規模で大きな気候変動がみられている。誰もが「今後は本当に大丈夫だろうか」と不安を感じているであろう。この問題に関連して、どのようなファクターが関わっているのか、最近レポートが発表された。その中から若干紹介し、私たちのこれからの生活や社会の方向性を考えてみたい。

### ◆いろいろな 気候リスクが 急増中

気候関連のリスクには、ハリケーンや洪水などの急激な気象変化、降雨の変化、干ばつや洪水の長期化、山火事（野火）の増加、海面上昇など、種々の変化が含まれる。世界的気象変化について、最近10年間の増加を表1に示した。

表1 気候変動関連ワードの増加

関連する単語	割合
生物多様性	6 %
海面上昇	14 %
干ばつ	20 %
山火事	29 %
洪水	44 %
異常気象	46 %
ハリケーン	53 %

(2012-2021年の10年間)

10年前環境に対する認識を端的に表した言葉が「All talk, no action」。多数の人が気候変動は重要だと述べたが、実際の行動はなかった。今後さらに変わっていくだろう。

### ◆環境の 変動因子 注目し

注目されている気候変動の詳細を図1にまとめた。かつて気候変動の関連用語が様々な企業48%から発せられていた。2021年には91%に跳ねあがり、国際的対応が期待される。サステナビリティは27%から80%に、再生可能エネルギーは15%から37%に増加した。このように、歴史は変容しつつある。

### ◆人間と 社会と地球 関連し

ヒトは動物から猿人→原人→人類へと進化し、現生人類は一人でなく家族→組織→地域へと社会を作り上げた。各文明が起こり、言語や知性、技術、経験を統合することで、五大陸から地球まで管理するレベルになった。ただ、気候変動を含む地球環境は激変しており、元に戻せない段階まで達したようである。

従来、人間と社会と地球という3つの因子で総合関係を検証する方法が知られてきた。図2に示したように、

- ①人間には健康や信条、価値観などが含まれ、
- ②社会には政治、経済、技術、産業、ICTなどが含まれ、
- ③地球には環境、気候システム、資源、エネルギー、生態系（人間、動物、植物などすべて）が含まれている。

はたして、従来進めてきたこの方向性は正しかったのだろうか？今後は、逆の方向に考えていくべき時代が到来しているかもしれない。

あなたは、どのように考えるだろうか？

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

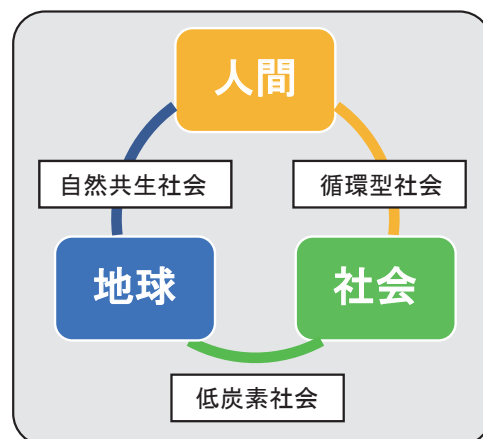
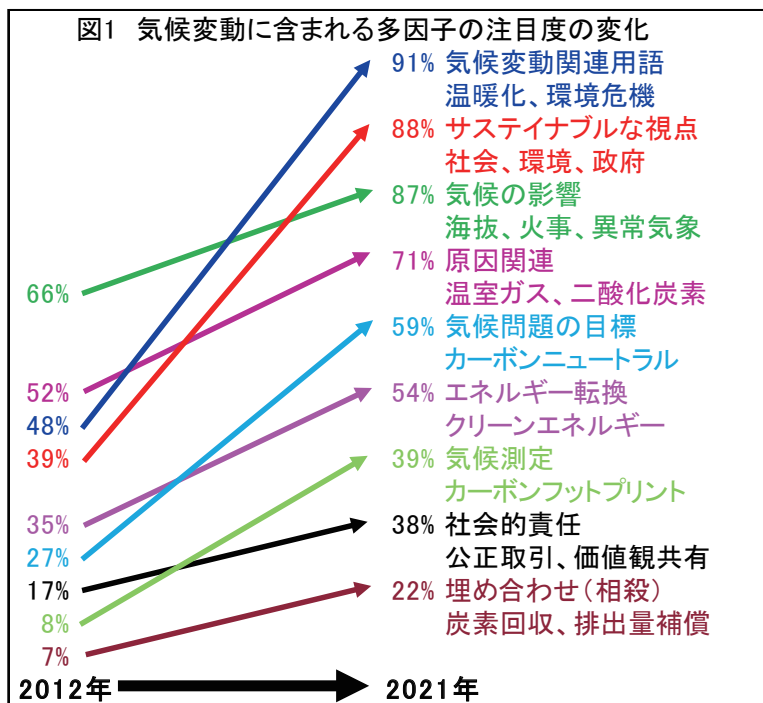


図2 人間・社会・地球の関係性